

# 金融機関との連携により新事業の海外展開を実現

## 株式会社ネル（北海道）

平成22年に設立され、映像コンテンツの企画/制作などを行う。代表者：諸橋氏は、メルボルンの高校・大学を卒業後、フリーランスディレクターとして長年テレビ番組制作に携わり、国内各地・国外（アメリカ、中国、韓国、台湾、ヨーロッパ）で取材した飲食店は700件を超え、海外の飲食店情報を多数有している。

### 1. 相談のきっかけ

- ・新規事業としてオーストラリアのメルボルンで和食レストランの開店を検討。
- ・資金調達のため、複数の金融機関に交渉に行くも、融資困難との判断を受けていた。
- ・しかし、日本公庫に相談する中で、飲食店の経営・海外進出が初めてであり、必要資金額も大きいことから、まずは事業計画策定が求められていると気づいた。
- ・そのため、同公庫からよろず支援拠点の紹介を受け、事業計画策定のために相談に至った。

### 2. 課題整理・分析

- 【市場】現地は、和食ブームがあり、他の和食レストランの進出の動きも始めている。
- 【強み】
- ・飲食店経営は初めてではあるが、取材を通じた飲食店経営情報は豊富に有している。
  - ・現地での居住経験や人脈なども豊富に保有
- ⇒以上から、飲食店経営に関する経験不足・新規開業のネックを補うことが十分可能と判断される。
- 【課題】
- ・強みを前面に打ち出した事業計画へのブラッシュアップが必要であった。
  - ・また、資金調達先の選定と具体的な交渉方法の確立が必要であった。

### 3. 解決策の提案

- ・中野Coの知見に基づき海外和食ブームの市場の大きさを相談者に情報提供するとともに、メルボルンの日系飲食店の進出動向について詳しく現地の状況を確認することを提案。
- ・損益計画など事業計画の妥当性を検証。また当社の特長である代表者のノウハウ面がきちんと計画に表現されているかも検証。
- ・小野寺SCoが中心となって、相談者の金融機関との交渉方法の提案など資金調達への取組みを全面的にバックアップ。
- ・現地のテナント物件探しを援助し、事業開始を現実的に検討できる具体的な条件を相談者とともに整理。

## 4. 成果

#### 【協調融資先の発掘・資金支援の合意形成】

強みを打ち出した事業計画策定と資金調達先の選定を支援したことで、調達候補先案として提示した商工組合中央金庫が、海外の情報に詳しい職員を中心に事業計画の評価を実施。よろず支援拠点が出店後も伴走型の手厚い支援を行うことなども考慮し、日本政策金融公庫と協調して同額の融資を行う方針を決めた。

#### 【新店開業計画の確立】

さらに現地での出店条件についての情報が整理されたことで、改装や人材確保など本格的に出店の準備に着手することができ、9月頃にジャパニーズ・フュージョンの店※「ポンシュ・キロロ」をオープン（予定）する運びとなった。

※ジャパニーズ・フュージョンとは、本格的な和食を中心としつつも各国の料理も取り入れたメニューを展開している店。



左から中野Co、諸橋社長、小野寺SCo（北海道よろず支援拠点にて）